

相模原市初！食とエネルギーの生産拠点 ～50種類のベリーが楽しめる体験農園
「SAGAMICO BERRY GARDEN（さがみこベリーガーデン）」プレ会員募集開始！



株式会社さがみこファーム（神奈川県相模原市緑区三ケ木250-1 代表取締役社長 山川勇一郎）は、相模原市緑区青野原の前戸地区にブルーベリーを中心とした50種類のベリー類が楽しめる体験農園「SAGAMICO BERRY GARDEN（さがみこベリーガーデン）」のプレ会員の募集を2020年12月11日から開始します。2022年春のオープンに先立ち、会員制のファンコミュニティを作り、食とエネルギーの先進基地を一足先に体感できます。

プレ会員は一口5000円。入会者には1口につき5,000ベリー分の会員通貨が自宅に郵送されます。プレ会員は2022年春のブルーベリー農園での摘み取り他、2021年度中にはさまざまな体験プログラムやイベントに会員通貨ベリーを使って参加可能。また、ソーラーシェアリングの設置作業ボランティアなども募集予定で、子どもから大人ま

で幅広い人が「あそぶ・働く・学ぶ・味わう」を体験できます。

「SAGAMICO BERRY GARDEN」では、ブルーベリーの養液ポット栽培を採用、500円玉大の特大的ブルーベリーほか、最大50種の様々な品種のベリーを栽培予定で、料理研究家や食育関係者、家族連れなど、食に関心のある多様な方々のニーズに応えられる可能性を秘めています。スタッフはプロの自然ガイドの経験者であり、食育や再生可能エネルギーなどの、楽しく「学び」がある体験プログラムを定期的実施予定です。大人も子どもも楽しめる環境教育のフィールドとしても魅力満載で、プレ会員は「とらにつくる」仲間として「SAGAMICO BERRY GARDEN」のポテンシャルを最大限に活かすことができます。

「SAGAMICO BERRY GARDEN」では、農地の上で太陽光発電を行う「ソーラーシェアリング」と呼ばれる手法を相模原市で初めて実現しました。太陽の光が適度に遮光されることで、作業者は夏でもパネルの下で快適に過ごすことができ、栽培品目によっては収量増、農業経営の安定化など、六次産業の発展の可能性も秘めています。ソーラーシェアリングは現在128kW相当が既に稼働し（約30世帯分の電気を発電）、今後順次増設し、将来は約100世帯分の電気を賄う予定です。平時はFITにより全量売電しますが、災害時には地域の非常用電源として開放したいと考えており、分散型エネルギーとしても期待できます。

プレ会員募集の第1期は2020年12月11日から2021年1月31日まで。限定100口（一人10口まで）先着順。さがみこファームウェブサイトにある専用申込ページから（<https://sagamicofarm.co.jp>）申し込み可能です。2021年4月より、プレ会員の本格募集（700口）も開始予定で、2021年1～3月にはプレス向けの現地ご案内ツアー、体験プログラム等も提供いたします。ぜひ、この機会にご取材、PRをよろしくお願ひします。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社さがみこファーム 担当：磯川・山川
contact@sagamicofarm.co.jp